



## 第25回参議院議員通常選挙 全国たばこ販売政治連盟推薦当選者

7月21日に投開票が行われた第25回参議院議員通常選挙において、全国たばこ販売政治連盟（横田圭二会長）が推薦し、見事、当選を果たした議員（自民党公認）は次のとおり（敬称略・順不同・氏名の表記は自民党ホームページに依拠した・「たばこ議連」とあるのは自民党たばこ議員連盟）。

### 比例代表当選者

山田俊男（たばこ議連幹事長）

### 選挙区当選者

- 北海道=岩本剛人／高橋はるみ
- 福島県=森まさこ（たばこ議連）
- 茨城県=上月良祐（たばこ議連）
- 栃木県=高橋克法（たばこ議連）
- 群馬県=清水真人
- 千葉県=石井準一／豊田俊郎
- 東京都=丸川珠代
- 神奈川県=島村大（たばこ議連）
- 富山県=堂故茂（たばこ議連）
- 石川県=山田修路（たばこ議連）
- 福井県=滝波宏文（たばこ議連）
- 岐阜県=大野泰正（たばこ議連）
- 静岡県=牧野たかお（たばこ議連）
- 三重県=吉川ゆうみ（たばこ議連）
- 京都府=西田昌司（たばこ議連）
- 大阪府=太田房江
- 兵庫県=加田裕之
- 奈良県=堀井巖（たばこ議連）
- 和歌山県=世耕弘成
- 鳥取県・島根県=舞立昇治（たばこ議連）
- 岡山県=石井正弘（たばこ議連）
- 山口県=林芳正（たばこ議連）
- 徳島県・高知県=高野光二郎（たばこ議連）
- 香川県=三宅伸吾（たばこ議連）
- 福岡県=松山政司（たばこ議連）
- 佐賀県=山下雄平（たばこ議連）
- 長崎県=古賀友一郎（たばこ議連）
- 熊本県=馬場成志（たばこ議連）
- 宮崎県=長峯誠（たばこ議連）



左から大野・前橋組合副理事長・沼田支部長、青山・沼田警察署長、笛木・酒販組合理事長



### 第25回参議院議員通常選挙を終えて 分煙社会の実現に

#### 全力を尽くします

去る7月21日に投開票が行われました第25回参議院議員通常選挙において、3回目の当選を果たすことができ、気持ちも新たに、もっともっと皆様のために汗をかかなければと、決意しております。

たばこを取り巻く環境が激変する中、私は、「禁煙より分煙を。目指せ、分煙先進国!!」を基本理念として、皆様とともに分煙社会の実現を図るために、全力を尽くしてまいります。課題は山積していますが、当面は、愛煙家のため、たばこ販売組合の皆様のため、そして、受動喫煙を防ぐためにも、喫煙場所の確保（分煙）を全国の至る所で実現させていきたいと考えておりますので、ご協力、ご支援をお願い申し上げます。

（全国たばこ販売政治連盟推薦）

財務省まとめによる  
2018年度（2019年3月末現在）の全国のたばこ販売店数は24万2781店で、前年度に比べ6409店（2.6%減）の大規模な減少となった。内訳は、新規許可店が4212店（9.6%減）であるのに対しても、不継承・許可取消を

2018年度の全国たばこ販売店数  
財務省まとめによる  
2018年度（2019年3月末現在）の全国のたばこ販売店数は24万2781店で、前年度に比べ6409店（2.6%減）の大規模な減少となった。内訳は、新規許可店が4212店（9.6%減）であるのに対しても、不継承・許可取消を

除く廃業店は1万515店（同11.7%増）と、新規店を25倍上回った。販売店数は2001年度の30万7千店をピークに17年間減少傾向にある。2014年度から2017年度までの対比で、前年度比減少店数は、6666店（14%減）、

税増税、2018年10月にたばこ税増税が実施されている。たばこを取り巻く厳しい環境下で、中小店の経営苦境を色濃く反映した数字である。

なお、販売店数に含まれる出張販売件数は26万687件（9657件・3.6%減）とな

なっている。なお、販売店数に含まれる出張販売件数は26万687件（9657件・3.6%減）とな

台”であることに着目したようだ。こうした、警察署と組合団体との特殊詐欺防止協定締結は県内初であり、全国的にも珍しいという。

なお、特殊詐欺被害は、「オレオレ詐欺」「架空請求・融資保証金・還付金など」の手口が多様化・巧妙化し、高齢者が中心に被害が急増している。

## 6千店強減少の24万2781店に

一方、本紙調べによる都道府県別の新規店数の上位は、東京都566店、大阪府342店、神奈川県322店、埼玉県219店、千葉県199店、店廢業店数の上位は東京都971店、大阪府800店、神奈川県577店、兵庫県469店と

Jの新会長に、このほどジエラムズ山中氏（ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン社長）が就任した。

### 警察署と組合が協働して特殊詐欺被害の撲滅へ

前橋組合沼田支部が協定締結

協定では、警察署が組合に随時、特殊詐欺被害状況の現状報告や新たな手口の情報提供を行い、チラシなどを配付する。たばこ組合員（約140名）の店頭で

のなかで特殊詐欺防止の注意喚起の啓発活動を繰り広げている。警察署では、たばこ販売店・酒販売店は古くから地域社会に密着した“街の灯

台”であることに着目したようだ。こうした、警察署と組合団体との特殊詐欺防止協定締結は県内初であり、全国的にも珍しいという。

なお、特殊詐欺被害は、「オレオレ詐欺」「架空請求・融資保証金・還付金など」の手口が多様化・巧妙化し、高齢者が中心に被害が急増している。

広告3段

## 話題

## 移動式分煙室〈分煙マナーバス〉

喫煙所をいつでもどこでも、出前します——マイクロバスを改造して車内を喫煙所とした移動式分煙室〈分煙マナーバス〉が登場し、大きな話題となっている。

**バス改修**開発したのは、静岡県を中心に車の買取事業を行う「ビッグウエーブホールディングス」(本社・浜松市)。TEL 053-545-3101。同社がマイクロバスを約1年半・2000万円かけ、8社の協力を得て、屋外での完全

分煙を可能とするよう独自技術を開発・駆使し、製作したのが、「移動式分煙室」(分煙マナーバス)である。

**イベント**各種イベント会場などに喫煙所を設置する場合、喫煙所設置者が、屋外のテント張りや煙が流れ

末は不要である。

JT浜松支店(宗形裕治支店長)が8月4日に実施したJR浜松駅近くのギャラリーモール・シラモでの加熱式たばこ「ブルーム・テック」のPRイベント(写真)に、この分煙バスが登場した。この

出ないようなパーテーションの無い、灰皿設置などの事前作業を必須とするが、分煙バスは指定場所に駐車するだけで「喫煙所」が完成。しかも、イベント終了後の後始

付近は路上喫煙禁止地区だけに喫煙者から大好評だつた。分煙バスは、喫煙所設置依頼者が、行政あるいはイベント主催者から喫煙所や駐車の許可を得ることができれば、BWH社が一切の管理運営を行う。

**独自技術**分煙バスの主な特徴は、車内装備の13基の「完全無水式自動消煙灰皿」(特許出願中)である。喫煙者は吸い終わったたばこを、火がついたまま灰皿に

投入すればたばこを消火できる。煙が立ち昇らず、厄介なもみ消しの手間がいらぬいうえ、水を使用しないから汚水も発生しない。

もう一つは、「煙分解システム」の導入だ。たばこの煙は、空調で空気の流れを作り、分解システムに運ばれ、放出する。その他、煙を外に出さないエアカーテンの採用、車屋根部にソーラーパネルを設置することで、車移動時以外は蓄電システムを活用するなど環境に優しい。

## いつでも「喫煙所」を「出前」します!!



## 新・煙 故 知 新

### たばこと塩の博物館... 谷田 有史

約400年におよぶ日本のたばこの歴史において、極度のたばこ不足に陥ったのは、第二次世界大戦末期の昭和19年頃から終戦直後の同24、25年頃までであった。昭和19年7月にはサイパン島が、翌20年3月には硫黄島の日本軍陣地が陥落して戦況は悪化、同年6月には米空軍機による北九州初空襲が行われている。そうした中、たばこ製造工場も防空法に基づいて疎開を始めた。しかし、空襲は日増しに激化し、昭和20年3月には東京・大阪・名古屋の三工場が戦災に遭い、続いて

たばこと塩の博物館... 谷田 有史  
雑学講座 (17) **ヤミ市とたばこ**

たばこと塩の博物館... 谷田 有史  
雑学講座 (17) **ヤミ市とたばこ**

たばこと塩の博物館... 谷田 有史  
雑学講座 (17) **ヤミ市とたばこ**



ヤミ物資を没収する警察官とMP(昭和24年)

り、昭和20年の葉たばこ生産量は、年間必要量の半分しか達しないという状況だった。敗戦下の日本において生活必需品の多くが不足し、また、戦後の超インフレ状況の中でお金の価値も低下していくため、全國各地の焼け跡に建てられたヤミ(闇)市においてたばこは、現金代わりとなる商取引であった。そのため、

ばれ、「ラッキーストライク」は「日の丸」と称され、「キャメル」は「らくだ」の愛称で呼ばれていたといふ。

ヤミ市は戦後の物資不足のための必要悪であったが、米軍物資の横流しは当然非合法的な商取引であった。そのため、

當時、ヤミ市に流通するたばこの中で人気が高かったの品だった。當時、ヤミ市に流通するたばこの中で人気が高かったの品だった。

たばこの中で人気が高かったの品だった。當時、ヤミ市に流通するたばこの中で人気が高かったの品だった。

## 3段廣告







